

## 令和6年度職員提案『改角』グランプリ「改善実績提案部門」 表彰提案一覧

賞名	提案名	提案概要	実施効果
最優秀賞	ふるさと納税制度を活用した地場産品の売上額の増額	返礼品提供事業者数の増加、返礼品数の増加、SEO（検索エンジンの最適化）対策、LP（ランディングページ）の見直し、寄附額の見直し、クラウドファンディングにおいて選べる返礼品を農産物等をはじめとする地場産品に限定した誘導策の実施、WEB広告等を実施。また、生産者や市内事業者との庁内の窓口となる、農林振興課や商工観光課と返礼品実績を毎月共有し、更なる対策を生み出すよう工夫を行った。	市民サービスの向上 ⇒ふるさと納税の寄附金を原資に、給食費の無償化、保育料の無償化が実現 経済性 ⇒収入の増加：令和6年度未見込み 1億円（農産物等の地場産品） 令和6年4～11月末実績 約6,500万円（約7,000件） 令和5年度実績 約2,200万円（約2,300件）
優秀賞	Kintoneの活用	Kintone※を活用して「令和6年度かくだ3割増商品券」受付入力フォームを作成し、オンラインで複数人の同時入力を可能にするとともに、自動集計が行えることにより日々集計の効率化が図られた。 また、入力必須項目を設定し、データの入力ミス等を未然に防いだ。	事務処理の改善 ⇒当初想定作業時間 103時間 Kintone活用した実際の作業時間 70.5時間 = 32.5時間の削減
優良賞	国民健康保険資格喪失手続のオンライン化	「国民健康保険資格喪失手続」をオンライン化することによって、申請者（市民）が来庁しなくても自身の都合に合わせて申請することができるようにした。	市民サービスの向上 ⇒申請者の来庁する手間・時間の削減、利便性の向上 事務の効率化 ⇒削減時間 13時間（令和6年4月～10月）
	補助金の電子申請受付によるサービスの向上	「自転車用ヘルメット補助金」の手続きのオンライン化を行うことで、申請者本人がご自身の所有するスマホ等を使用し、市HPより申請ページへE-mailを介してジャンプし必要欄を入力いただき、スマホのカメラで添付資料（領収書）の写真を撮影・添付いただくことで、【交付申請書】【添付資料】【実績報告書】を一括作成し、担当者が一度に申請にかかる必要書類を受理できるもの。	市民サービスの向上 ⇒窓口来訪不要・記入不要・24時間受付 事務処理の改善 ⇒削減時間 82時間 （令和5年10月～令和6年3月 申請件数164件×1件あたりの処理時間30分）
	類似する協議会の委員の一本化及び会議の同日開催について	介護保険運営協議会と地域包括支援センター運営協議会の両協議会の委員を同一の者に選任できるよう、介護保険運営協議会の設置等の根拠である「介護保険条例」に合わせる形で、「角田市地域包括支援センター運営協議会設置要綱」の一部改正を行った。 また、委員を同一の者とし両協議会を同日開催とすることで、委員の協議会への出席に対する負担の軽減や事務局の会議の準備負担の軽減等を図った。	市民サービスの向上（両協議会委員） ⇒委員の出席に対する負担感の解消が図られた 2つの関連する協議会の委員となることで、介護保険全体に関わる市の施策及び地域包括ケア推進の中核を担う地域包括支援センターの役割等の一体的な理解を深める効果がある 事務処理の改善 ⇒削減時間 年20時間（会議、事前打ち合わせ、資料作成等に係る時間）
職員人気賞	ふるさと納税制度を活用した地場産品の売上額の増額	「最優秀賞」の同提案と同じ	「最優秀賞」の同提案と同じ
職員人気賞次点	国民健康保険資格喪失手続のオンライン化	「優良賞」の同提案と同じ	「優良賞」の同提案と同じ

※Kintone…ノーコードで、業務のシステム化や効率化を実現するアプリがつけられるクラウドサービス